

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	総合医学演習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	北田覚、奈良上眞	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸専門学校の最終目標としてあるのは、国家試験に合格し免許を取得することにある。本時は、はり師・きゅう師の国家試験の合格を目指し、その試験対策に重点を置いた授業を行う。前期においては、解剖学・生理学・東洋医学概論・経絡経穴概論を中心に学習し理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
前期末模擬試験にて評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
解剖学、生理学、東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題の学習を進めていくこと						
《履修に当たっての留意点》						
必ず復習をし、国家試験過去問題へとつなげていき、知識を活用できるようになること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	解剖生理学の神経・内分泌の問題が解けるようになる		解剖学・生理学のテキスト	春休み課題の実施
		各コマにおける授業予定	オリエン 問題演習＆解説			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業で取り扱う東洋医学概論の問題が解けるようになる		東概・経穴のテキスト	演習の復習をする
		各コマにおける授業予定	問題演習＆解説			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業で取り扱う経絡経穴概論の問題が解けるようになる		東概・経穴のテキスト	演習の復習をする
		各コマにおける授業予定	問題演習＆解説			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	解剖生理学の循環・呼吸の問題が解けるようになる		解剖学・生理学のテキスト	演習の復習をする
		各コマにおける授業予定	オリエン 問題演習＆解説			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	授業で取り扱う東洋医学概論の問題が解けるようになる		東概・経穴のテキスト	演習の復習をする
		各コマにおける授業予定	問題演習＆解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	授業で取り扱う経絡経穴概論の問題が解けるようになる	東概・経穴のテキ スト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	問題演習&解説		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	これまでの解剖生理学の問題が解けるようになる	解剖学・生理学 のテキスト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	問題演習&解説		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	これまでの東概と経穴の問題が解けるようになる	東概・経穴のテキ スト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	問題演習&解説		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	これまでの学習を振り返り自身の成果と課題を書き出せる	解剖学・生理学 のテキスト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	学習の振り返りと今後の計画		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	解剖生理学の消化・排泄の問題が解けるようになる	解剖学・生理学 のテキスト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	オリエン 問題演習&解説		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	授業で取り扱う東洋医学概論の問題が解けるようになる	東概・経穴のテキ スト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	問題演習&解説		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	授業で取り扱う経絡経穴概論の問題が解けるようになる	東概・経穴のテキ スト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	問題演習&解説		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	解剖生理学の運動器・局所の問題が解けるようになる	解剖学・生理学 のテキスト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	オリエン 問題演習&解説		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	これまでの東概と経穴の問題が解けるようになる	東概・経穴のテキ スト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	問題演習&解説		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	これまでの解剖生理学の問題が解けるようになる	解剖学・生理学 のテキスト	演習の復習をする
		各コマに おける 授業予定	問題演習&解説		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	陰陽五行学説の基本概念が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	陰陽学説, 五行学説.		
第17回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説, 特に腎, 肝の生理が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	蔵象学説, 腎と肝の生理機能		
第18回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説, 特に脾, 肺, 心の生理が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	蔵象学説, 脾と肺と心の生理機能		
第19回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説, 六腑, 奇恒の腑の生理が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	蔵象学説, 六腑, 奇恒の腑の生理		
第20回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説, 五臓の相互関係が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	蔵象学説, 五臓の相互関係		
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	経絡の基本概念が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	経絡の基本概念		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	病因学説の基本概念が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	病因学説の基本概念		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	四診法の望診, 聞診の基本概念が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	四診法の望診, 聞診の基本概念		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	四診法の問診(寒熱, 飲食, 睡眠, 二便)の基本概念が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	四診法の問診(寒熱, 飲食, 睡眠, 二便)の基本概念		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	四診法の問診(発汗, 疼痛, 婦人科)の基本概念が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	四診法の問診(発汗, 疼痛, 婦人科)の基本概念		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	四診法の切診(脈診, 腹診)が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	四診法の切診(脈診, 腹診)の基本概念		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	弁証論治の八綱弁証, 気血津液弁証が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	弁証論治の八綱弁証, 気血津液弁証の基本概念		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臓腑弁証, 肝と腎の病証が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	臓腑弁証, 肝と腎の病証の基本概念		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臓腑弁証, 脾と肺の病証が説明できる	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	臓腑弁証, 脾と肺の病証の基本概念		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ	『新版東洋医学概論』	『新版東洋医学概論』で当該項目を復習しておくこと
		各コマにおける授業予定	総合まとめ		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			